

所要時間	30分～60分（60分の場合は、ワークショップやフィールドワーク等を含む）
対象	小学生・大人
参加者数（想定）	10名～30名くらい
テーマ	植物（野菜、果樹）の生育と地球温暖化について
目的	植物（野菜、果樹）の生育から地球温暖化の影響と自生地域の拡大、又は縮小から虫、動物の生活地域の変化について。ワークショップやフィールドワークで理解を深め、地球温暖化防止に繋がる取り組みや身近な活動を伝える。
プログラム	講座受講者毎に応じて、具体的なプログラムや説明内容を作成する。 ※講座の開催時期によってワークショップやフィールドワークの内容を変更。 例：植物（マメガキ）をテーマとして取り上げ、マメガキの歴史、生育、自生地域などから地球温暖化によって、北限が上がって来ている事、またが種を野鳥が緯度沿いに運ぶことにより（自生地域の岐阜県や長野県から千葉県）自生地域の拡大(虫媒花であり雌雄株が必要な為)している。 地球温暖化防止に繋がる取り組みの紹介や身近に自生している植物から温暖化が進んでいる事を説明し伝えて行く。
関連リンク	https://x.com/cpfm_kc